

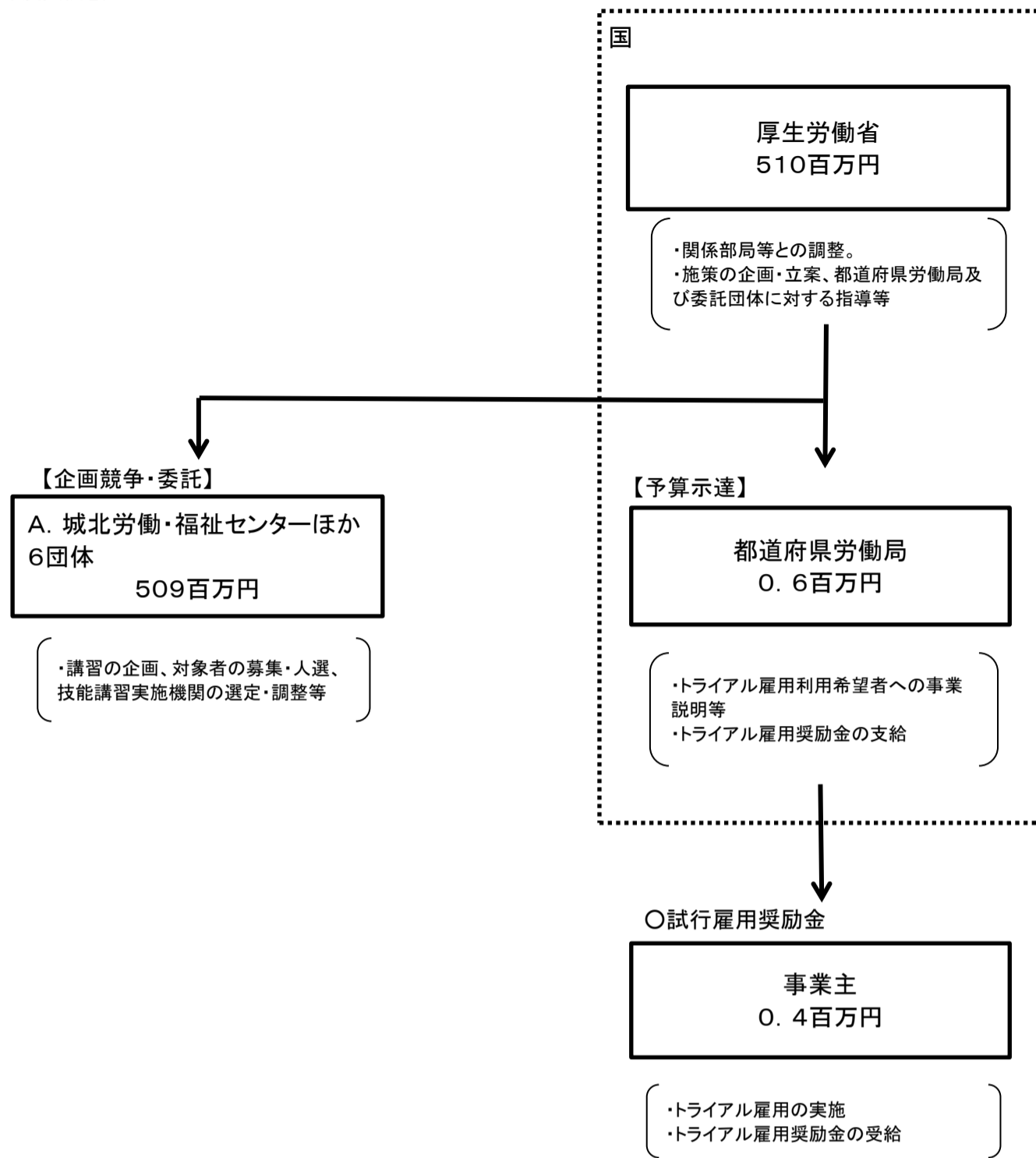
平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	日雇労働者等技能講習事業		担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	企画課就労支援室		就労支援室長		
会計区分	労働保険特別会計(雇用勘定)		施策名	(Ⅱ-1-3)高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第63条第1項第7号		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日雇労働者、ホームレス又は住居喪失不安定就労者に対して、技能労働者として必要な知識・技能を習得又は向上させ、これらの者の就業機会等の確保を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日雇労働者等技能講習は、対象者の就業の可能性を高めるとともに、常用雇用等により安定した雇用への移行の促進を図ることに資する技能を身につけさせるために必要な講習を実施するものであるが、講習の企画、対象者の募集・人選等の講習業務一切を企画競争により選定した団体へ国から委託するものである。また、対象者を試行的に雇用する事業主に対しては、試行雇用対象者1人当たり4万円(対象期間3か月以内)の奨励金を労働局から事業主へ支給する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	530	489	528	820	506	
	執行額	434	407	510				
	執行率(%)	81.9	83.2	96.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	ホームレスの講習受講後の就職率	成果実績	%	52.3	40.2	43.1	50	
		達成度	%	104.6	73	77.4		
	講習受講者から、就職に必要な能力の向上に役立ったとの評価を受ける割合	成果実績	%	91.8	92.1	93.6	90	
達成度		%	114.8	115.1	117			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	技能講習受講者		活動実績(当初見込み)	人	3,664	3,444	3,534 (3,466)	— (3,453)
単位当たりコスト	144,307(円/人)		算出根拠	平成22年度執行額(509,982千円)を平成22年度技能講習受講者数(3,534人)で除して得た額。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	給付金	5.5	3.3	支援対象見込者数の減。				
	旅費	0.4	0.4					
	委託費	814	501.8					
計	820	506						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後とも、労働市場においてニーズのある資格等の講習科目を積極的に取り入れ、事業のさらなる改善を図っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	日雇労働者等技能講習事業は、執行状況を予算要求に反映すること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
過去の実績等を踏まえ、支援対象見込者数を見直した。(反映額:26百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A.城北労働・福祉センターほか6団体			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	技能講習に必要な経費	108			
人件費	人件費	35			
消費税	消費税	7.5			
管理費	事業に必要な管理経費等	6.4			
計		157	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A. 城北労働・福祉センターほか6団体

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京しごと応援団	東京地域におけるホームレス及び住居喪失不安定就労者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	156	1	100
2	西成労働福祉センター	大阪地域における日雇労働者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	120	1	92.2
3	みおつくし福祉会	大阪地域におけるホームレス及び住居喪失不安定就労者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	78	1	100
4	神奈川県労働福祉協会	神奈川地域におけるホームレス、住居喪失不安定就労者及び日雇労働者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	62	1	99.5
5	北九州ホームレス支援機構	福岡地域におけるホームレス、住居喪失不安定就労者及び日雇労働者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	35	1	100
6	いきいきライフサポート・あいち	愛知地域におけるホームレス、住居喪失不安定就労者及び日雇労働者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	34	1	100
7	城北労働・福祉センター	東京地域における日雇労働者の就業機会等の確保を図るため、技能・資格の習得、再教育等を目的とした技能講習事業等を実施する。	24	1	92.1
8					
9					
10					